

## 研究課題：精巣捻転後の精巣委縮や精巣喪失に関連する因子についての後ろ向き研究

### 1. 研究の目的

精巣捻転後の精巣委縮や精巣喪失に関連する因子について明らかにします。精巣捻転は、小児に多く、血流障害から壊死による精巣の委縮や喪失の原因となります。そのため、早期に捻転解除が必要ですが、6時間以内の捻転解除が目標とされています。しかし、実際には症例によって精巣の委縮の程度や、喪失となるかどうかは様々であります。今回の研究では、精巣捻転後の精巣委縮や精巣喪失に関連する因子を、臨床情報のほか、超音波所見、MRI 所見から明らかにします。精巣喪失に関連する因子を明らかにすることによって、より詳細な精巣の委縮や壊死の発生の予想と説明が可能となると考えます。

### 2. 研究の方法

2006年9月から2021年12月までの精巣捻転が疑われた患者様の臨床情報、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。

### 3. 研究期間

2022年1月（倫理委員会で承認を得られた日）から2022年12月まで。

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

臨床情報と画像検査、その後の経過に関する事柄（画像、検査所見、治療方法、臨床所見）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

### 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター  
実施責任者：埼玉県立小児医療センター放射線科 医長 細川崇洋  
実施分担者：埼玉県立小児医療センター放射線科 副院長 小熊栄二  
埼玉県立小児医療センター放射線科 医長 佐藤裕美子

個人情報管理者：埼玉県立小児医療センター放射線科 科長 田波穰

**7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先**

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年4月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）